

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ハッピーテラス我孫子		2026 年 1 月 31 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		基準を満たしている	引き続き、教具教材については検討を行っていきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用希望者に応じた職員の確保をおこなっている	引き続き、配置基準を遵守して受け入れを行います。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		関係している職員に対して1on1を実施し業務状況等を確認している。また他の職員も状況把握できるように予定を共有カレンダーに登録している	職員間で目標に対する共通認識が持てるように確認を行います。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けのアンケートも実施している	いただいたご意見に対し、素早い対応が行えるよう努めてまいります。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		関係している職員に対して1on1を実施し業務状況等を確認している	引き続き、意見を出し合う場を設けていきます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	今後実施予定	業務改善のため前向きに検討してまいります。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		業務に活かせる研修を法人内でも実施している	研修で学んだことを日々の支援に活用できるよう努めてまいります。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		利用児童や保護者に対しては振り返り等を行う機会を設けている	今後もお子様のアセスメントに基づいた支援を提供してまいります。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		通常の個別支援計画を策定時に合わせて策定を行っている	複数名の職員の意見を集約し、多角的多面的な分析に努めていきます。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		ケース検討会議録や面談記録の共有を行っている	引き続き、訪問先施設、担任等と情報共有、連携を行っていきます。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ケース検討会議録や面談記録の共有を行い、都度振り返りをおこなっている	今後もお子さまの最善の利益を考慮した検討ができるように努めてまいります。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		独自システムにてアセスメントが取れるようになっている	今後も継続してアセスメントツールを活用してまいります。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを踏まえつつ、前任者にも必要に応じてドローに入ってもらっている	今後も定期的に保護者様からの聞き取りやアセスメントを行い、より具体的な支援内容を設定していきます。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ケース検討会議録や面談記録の共有を行い、都度振り返りをおこなっている	今後もお子さまの最善の利益を考慮した検討ができるように努めてまいります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼、終礼時に共有をおこない、独自システムに記録を残し休みの職員にも共有できるようにしている	引き続き、共有を行う時間を確保してまいります。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		朝礼、終礼時に共有をおこない、独自システムに記録を残し休みの職員にも共有できるようにしている	引き続き、共有を行う時間を確保してまいります。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先の理念等を尊重しつつ支援を実施している	引き続き、訪問先の理念等を尊重しつつ支援を実施していきます。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		独自システムにて記録を取りつつ、都度振り返りを行っている	共有事項に関しても、社内のツールを拡張し記録として残しています。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		独自システムにて記録を取りつつ、都度振り返りを行っている	目標達成が早い場合や、優先度の高い課題がある場合には時期を待たずに支援計画の見直しを行ってまいります。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管もしくは担当者が参画している	今後も関係機関との連携を行い、より良い支援を提供できるよう体制を整えてまいります。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連携をおこなっている	今後も、関係機関との連携を行いつつ、より良い支援を提供できるよう体制を整えてまいります。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		相互理解を図れるように日頃からコミュニケーションをとるようにしている	引き続き内容の共有に努めてまいります。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		外部コンサル等を活用し必要に応じて助言をもらえる環境を設定している	引き続き、日頃から子どもについて情報共有をおこなってまいります。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		事業所として参加している	今後協議会の開催があれば参加してまいります。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		トレーニング実施後のフィードバックだけではなく、必要に応じて面談を行って共通理解を図るようにしている	引き続き、日頃から保護者の方へのお子さまの情報共有をおこなってまいります。
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		トレーニング実施後のフィードバックだけではなく、必要に応じて面談の希望を伺い、ご家庭やこどもの状況に合わせた情報提供を行っている	引き続き、保護者の方とお話しをする時間を設けてまいります。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行い、また、いつでも運営規定等を確認できるように保護者席に置いている	運営規定や利用者負担等の内容に変更がある場合には、都度説明を行っております。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		開始時に説明を行っている	引き続き、開始時には説明の時間を設けてまいります。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		トレーニング実施後のフィードバックだけではなく、必要に応じて面談を行うなど意見を伺う時間を必ず設けている。また、児童からニーズを聞いた際には独自システムにて記録を残している	引き続き、子どもファーストな支援内容を設定していきます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		計画作成後には、支援内容について説明を行い、同意をいただいている。その際にご意見があれば反映させ修正を行っている	個別支援計画の内容に変更がある場合には、都度説明を行っております。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		トレーニング実施後のフィードバックだけではなく、必要に応じて面談の希望を伺っている。また父母対象として外部講師を招いた研修を実施している	引き続き、ご希望に応じて実施を予定していきます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		トレーニング中やイベントの最中に保護者同士で話せるようにスペースを確保している。また父母対象として外部講師を招いた研修を実施している	ご希望によって保護者会に機会を設定してまいります。

	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談等には迅速に対応している。またいつでも相談いただけるように普段からコミュニケーションも行っている	引き続き、日々のフィードバックの中でも相談や申し入れなどの時間を設けていきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログや通信にて情報の発信をおこなっている	今後も、皆様の目に入りやすい環境に設置をしております。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は必ず鍵付きのロッカーに保管を行っている。また、PCを持ち出す際にも必ず上長の許可を得ている	引き続き個人情報の取り扱いに關しての取り組みを継続してまいります。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて視覚提示等をおこなうなどの配慮を実施している	お子さまに対して、一人ひとりにあったツールを使用したり、問いかけの方法を変えるなどサポートしております。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		必要に応じて振り返り等の時間を設けている	引き続き、振り返りなどの時間を設けていきます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		必要に応じて振り返り等の時間を設けている	引き続き、振り返りなどの時間を設けていきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		都度、振り返りやFBを実施している	引き続き、振り返りなどの時間を設けていきます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は必ず鍵付きのロッカーに保管を行っている。また、PCを持ち出す際にも必ず上長の許可を得ている	引き続き個人情報の取り扱いに關しての取り組みを継続してまいります。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		信頼関係形成のために都度、振り返り時間を設け、適切なコミュニケーションを意識している	引き続き、振り返りなどの時間を設けていきます。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		計画を作成し、必要な訓練を実施している	定期的に職員間での読み合わせの機会を設け、保護者の方への周知も行っています。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		ホームページにて安全計画の公表を行っている	トレーニング内で年に2週間、防災をテーマに避難訓練や通報訓練を実施しております。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット発生時には共有を行い、職員で対策を話し合っている	ヒヤリハットの事例を集めて傾向を探っております。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		マニュアルの策定や、研修、机上訓練等を行っている	引き続き事業所内での勉強会にも取り組んでまいります。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		現在該当児童はいないが、身体拘束のマニュアルを作成し、研修等を行い、対応できるようにしている	必要時には左記の対応をおこなってまいります。